

接種費用
無料
(全額公費)



新型コロナワクチン接種について

Pick UP !
2022.03

▶ワクチンの有効期限の取り扱いについて

現在使用しているワクチンは印字されている有効期限が変更されている場合があります。

○ファイザー社ワクチン

令和2年2月末までまたは、それ以前となっているものは3カ月有効期限の延長

○武田／モデルナ社ワクチン

有効期限が6カ月と7カ月のものがあり、どちらも9カ月まで延長



▲厚生労働省 HP

▶新型コロナワクチンの追加接種（3回目接種）について

新型コロナワクチンは、感染予防効果などについて時間の経過に伴い徐々に低下することがさまざまな研究結果などより示唆されていることから、追加接種を実施するものです。

●追加接種対象者 初回接種（1回目・2回目）を受けた18歳以上の方

●接種券発送時期 初回接種完了後7カ月以上経過した方に対して順次発送しています。

●発送スケジュール（令和4年2月9日現在） ※最新情報は、町公式ホームページでご確認ください。

発送対象者 (2回目接種完了日)	発送予定日	発送対象者 (2回目接種完了日)	発送予定日
R3年8月2日～5日	R4年3月2日	R3年8月19日～22日	R4年3月18日
R3年8月6日～9日	R4年3月8日	R3年8月23日～27日	R4年3月25日
R3年8月10日～13日	R4年3月11日	R3年8月28日～9月3日	R4年3月30日
R3年8月14日～18日	R4年3月14日	国からのワクチンの供給量に応じ、順次発送します。	

※8月1日までに2回目接種を終えている方に対しては、すでに追加接種のご案内をしています。

ワクチンの供給量に応じて、接種券の発送時期および接種時期などが変更となる場合があります。変更の際には、利根町行政アプリや情報メールー斉配信サービスなどでお知らせしますので、積極的な登録をお願いします。



▲利根町行政アプリ



▲情報メールー斉配信サービス
空メール送信用

【注意】

○利根町に転入される前に2回目接種を済ませている方は、利根町保健福祉センターへ申請が必要です。

○医療機関への入院患者や町外施設入所者などで接種券発送前に接種券が必要になる方は、利根町保健福祉センターまでご連絡ください。

●予約方法 ※接種券が届いてからの予約になりますので、ご注意ください。

電話予約（午前9時～午後5時／土・日曜日、祝日は除く）または Web 予約

※詳細は、接種券に同封する案内によりご確認ください。

●使用するワクチン

ファイザー社ワクチン または 武田／モデルナ社ワクチン

（接種量は、ファイザー社は初回接種と同量、武田／モデルナ社は半量）

※追加接種においては、初回接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、mRNA ワクチン（ファイザー社、武田／モデルナ社）を用いることが適当であるとされています。（厚生労働省 新型コロナワクチンQ & Aより）

感染予防対策
を継続してい
だくようお願い
します。

×



密集場所

×



密集場面

×



密閉空間



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

▶問い合わせ先 利根町保健福祉センター ☎68-8291

まちの話題 PHOTO NEWS



たくさんの思い出ができました

恋村児童との自然体験交流

1月5日～6日に、婦恋村児童との自然体験交流事業を実施し、町内小学校5・6年生20名、婦恋村の5・6年生10名が参加しました。

1日目に雪の中を歩く「スノーシュー」の体験や「星空観測」を行い、親睦を深めました。

2日目は、婦恋郷土資料館において、1783年に発生した浅間山大噴火の悲劇や特産品キャベツの歴史などについて勉強しました。

たくさんの思い出をお土産に夕方無事、役場に到着しました。



2年ぶりに举行!!

根町消防出初式

1月8日「令和4年利根町消防出初式」が新型コロナウイルス感染症防止対策として、「規模を縮小・無観客」で役場において2年ぶりに举行されました。

消防車両など19台の観閲入場のほか、長年活動を続けてこられた消防職団員などに対し、表彰状や感謝状が贈られました。

飯嶋団長は、「新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、引き続き感染対策を徹底し、町民の生命と財産を守るのが使命。今後も町民の安心・安全を確保するために邁進してまいります」と訓示を述べました。

新穀を供え感謝する行事

嘗祭献穀伝達書授与式

1月13日、役場に新嘗祭献穀伝達書授与式を執り行いました。

新嘗祭は、例年11月23日（勤労感謝の日）に皇居で行われる新穀を供え感謝する行事です。起源は古く『古事記』にも天照大御神が行ったことが記されている歴史あるもので、宮中恒例祭典の中の最も重要なものとされています。

本年度の献穀事業には、利根町下井の宮本忠夫氏（精米）、利根町押付新田の六本木孝氏（精粟）が選ばれ、10月16日に米（コシヒカリ）1升と粟（大和ウルチ）5合を皇居に献納し、両名は宮内庁からの伝達書および記念品を町長から授与されました。

